

平成 18 年 10 月 30 日

各 位

東京都新宿区西新宿六丁目 8 番 1 号
 株式会社 アドウェイズ
 代表取締役 岡村 陽久
 (コード番号: 2489 東証マザーズ)
 問い合わせ先:
 執行役員 伊藤 孝之
 電話番号 03 (5339) 7122

平成 19 年 3 月期 中間業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 3 月期中間期 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日) の業績予想につきまして、平成 18 年 6 月 20 日付「平成 18 年 3 月期決算短信 (連結)」及び「平成 18 年 3 月期個別財務諸表の概要」で公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期中間期業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

【連結】

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	2,787	156	89
今回修正予想 (B)	2,608	202	107
増減額 (B - A)	△ 178	46	18
増減率	△ 6.4%	29.5%	21.2%
(ご参考) 前期(2006年3月期中間期)実績	1,369	151	88

【個別】

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	2,773	152	86
今回修正予想 (B)	2,600	189	100
増減額 (B - A)	△ 172	37	14
増減率	△ 6.2%	24.4%	17.1%
(ご参考) 前期(2006年3月期中間期)実績	1,369	157	95

2. 修正の理由

当中間期の売上高につきましては、業績予想にて想定していた競合他社との競争状態の激しさはなく、メディアに対する支払額（掲載料）の高騰に繋がらなかったため、報酬額を多く支払って売上高を確保するという戦略の実行に至りませんでした。それに伴い、売上総利益は、売上原価である支払額（掲載料）が結果的に抑制されたことにより、大きく利益貢献いたしました。

一方で、営業利益につきましては、人材確保に伴う採用活動が効率的に進められたことによる採用教育費などの費用が抑制されたことにより、販売費及び一般管理費が削減されたため、大きく利益貢献いたしました。

経常利益につきましては、営業利益の増加に伴い、当初業績予想を大きく上回ることができました。

以上により当中間期は、売上高は2,608百万円(前期比90.5%増)、経常利益は202百万円(同33.6%増)、当期純利益は107百万円同(21.6%増)となる見込みであります。

(ご参考)

19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	7,064	603	354

※今回の中間期の業績予想の修正による通期の業績予想に変更はありません。

以 上

ご注意：業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社において判断したものであります。業績予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績は今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。この業績予想に全面的に依存して投資等の判断を行うことはお差し控え下さい。